

館長兼芸術総監督おすすめコメント

昨年、今年と苦難の年となっている一方で音楽の役割も大いに感じました。私個人的には「音楽って細胞に本当に染みるなあ」と感じておりました。この「0歳からのわくわくオーケストラ」も心から、そして細胞も喜ぶような音楽と演奏が用意されています。少し難しいお話をなっていますが、身体にどれくらい作用するのかは、オーケストラ演奏の場合、楽曲もさることながらその楽譜のクオリティにも大きく左右されます。そういう意味でこのコンサートでは良い曲、良い楽譜で臨むものです。皆さん、会場でわくわくしてください!

東海市芸術劇場 館長兼芸術総監督 安江正也



梅田俊明(指揮)

84年桐朋学園大学音楽学部卒業。86年同研究科修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。83、84年にはジャン・フルネ氏にも学ぶ。86年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。日本センチュリー、仙台フィル、神奈川フィルの指揮者を歴任。2000~06年まで仙台フィル常任指揮者に就任しオーケストラの発展に情熱を注いだ。N響、読響、都響、東響、新日フィルを始め国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。また桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

叶澤尚子(ヴァイオラ/名古屋フィルハーモニー交響楽団首席奏者)

福島県いわき市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。在学中にヴァイオラに転向。第3回横浜国際音楽コンクール第1位。東京・春・音楽祭、小澤征爾音楽塾、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)などに参加し、2013年よりサイトウキネンオーケストラに参加。そのほかカルテットゼーレのメンバーとして全国各地にてアウトリーチ活動を行なっている。また、KOTO弦楽四重奏団のメンバーとしてベートーベンの弦楽四重奏全曲チクリスを行なっている。ヴァイオラを故岡田伸夫、川本嘉子に師事。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席ヴァイオラ奏者。



名古屋フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

愛知県名古屋市を中心とした中部・東海地方の音楽界をリードし続けているオーケストラ。“名(めい)フィル”的愛称で地元からも親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。

現在の指揮者陣には、小泉和裕(音楽監督)、川瀬賢太郎(正指揮者)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・ツッモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。また2020年4月には坂田直樹が第3代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。意欲的なプログラミングの「定期演奏会」や、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。

劇場インフォメーション

第6回東海市紅白歌合戦

2021年12月26日(日) 13:00開演

東海市芸術劇場 大ホール

一般 ¥1,000 (5歳以上)

司会:アンダーポイント、大島由美子

出演者:出演者オーディションを突破した市民シンガー ほか



チケット発売日:10月17日(日)

~ひとりづくりパートナーシップ・シリーズ~ 笑う劇場 吉本新喜劇&バラエティ

2022年1月30日(日) ①13:00開演 ②17:00開演

東海市芸術劇場 大ホール

S席 ¥4,500 A席 ¥4,000 子ども ¥1,000

(5歳以上高校生以下)

ユウナルフレンドメンバーズ

プラチナ会員割引価格

S席 ¥4,050 A席 ¥3,600

子ども ¥900

出演者:調整中

チケット発売日:[先行] 11月13日(土)/[一般] 11月20日(土)



2020年度公演より